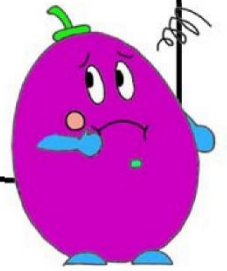




古都っ子だより

令和6年10月3日
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子



こづちゃんの ひみつ...

今から20年ほど前の平成15～18年度の4年間、古都小学校長でいらっしゃった高原正郎先生より、10月3日に行われる創立150周年記念行事に向けてのお祝いのメッセージを頂戴しました。式にご招待していたのですが、残念ながらご出席できないとのこと、在職期間の思いをしたためたお手紙の中にこんなイラスト(図1)が同封されていました。今から20年ほど前に生まれた、元祖「こづちゃん」の原画です。このイラストはどうやって生まれたのでしょうか。

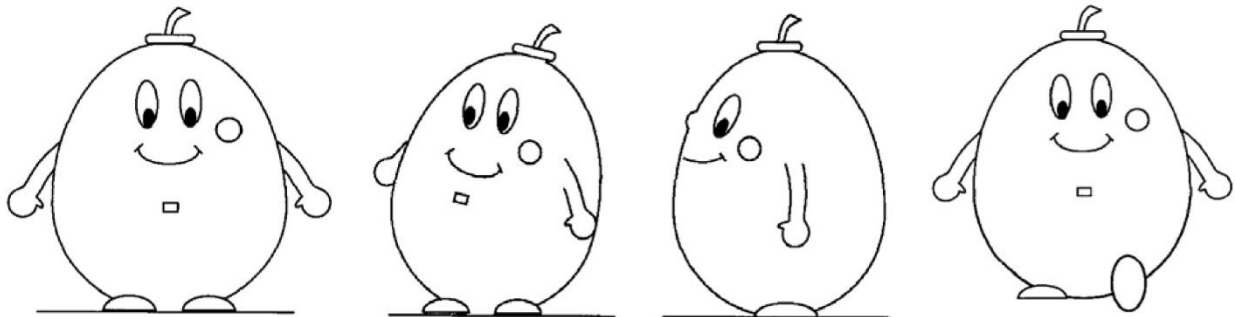


図1 竹内秀明先生がパソコンで描いた元祖「こづちゃん」(横から見た「こづちゃん」に鼻があることに驚かされた!)

高原校長先生のお話によると「こづちゃん」の原案は、当時の古都小の子どもたちが考えたとのことでした。「古都小にふさわしい地域の特徴を盛り込んだキャラクターを考えましょう。」という校長先生の提案に、全学年の多くの小学生からの応募があったそうです。

「古都と言えばぶどうだね。」「誰でも簡単に描くことができて身近なキャラクターにしたいな。」高原校長先生が、そんな子どもたちの意見をまとめ、アンケートを行って「ぶどうの粒に顔手足」の「こづちゃん」ができ上がりました。そして、ワープロ文書等でも簡単に使うことができるように、当時ご勤務されていた竹内秀明先生が、ペイントソフトで描きなおしたものが古都小オリジナル・キャラクター「こづちゃん」としてデビューしたそうです。以来、学校の掲示物、配付されるプリント等、あらゆる場面で古都小を代表するイメージキャラクターとして活躍中です。

「紫色の丸をぐるっとかいて、へたの帽子に顔、手足、あっという間にこづちゃん完成。」20年前に考え抜かれた秀逸なデザインは、今の古都小にも引き継がれています。慣れた子どもなら、さらさらっと描くことができます。私も著作権を心配しないで済むキャラクターである「こづちゃん」を生かし、いろいろなイラストを描いています。単純な形だからこそいろいろな情報を加えて、さまざまなメッセージを伝えることができます。

今回は、高原校長先生のお手紙から「こづちゃんのひみつ」と題して、皆様にお伝えしました。学校からの配付物に載っている姿を見かけたら、「このイラストにも歴史があるのだな。」と思いきり起こしていただけるとありがたいです。

(校長 石井 聡)



↑ 最新作ふるさとカルタ「こづちゃんず」